

「令和元年度 横浜緑ヶ丘高等学校 不祥事ゼロプログラム」実施結果

横浜緑ヶ丘高等学校事故防止会議

「令和元年度 横浜緑ヶ丘高等学校不祥事ゼロプログラム」で規定した「行動計画」についての実施状況を事故防止会議で検証し、その実施結果を次のとおりまとめた。

これらを踏まえつつ「令和2年度 横浜緑ヶ丘高等学校 不祥事ゼロプログラム」を策定する。

I 検証結果等

① 法令等の遵守意識の向上

行動計画	検証結果
1. 教育公務員としての自覚のもと、法令及び服務規程遵守の再徹底を図り、健全な日常生活を送る。 2. 心身ともに健康に留意し、互いを支えあう職場の人間関係を作る。	・ 8月に法令遵守についての研修を実施し、事故防止に取り組む姿勢を再確認した。 ・ グループ、教科、学年等で事故防止に関する話し合いを実施した。

② わいせつ・セクハラ行為の防止

行動計画	検証結果
1. コミュニケーション手段の適切な利用についてのルールを徹底する。 2. 教育実習生にわいせつ・セクハラ行為の防止に対する研修を実施する。 3. 教科準備室等が密室化することがないように、適切な利用について意識啓発を図るとともに、定期的な巡回を行う。	・ 5月、12月にセクハラについての研修を実施し、守るべきルール等について再確認した。 ・ 6月に、教育実習生オリエンテーションにおいて「セクハラ・パワハラ・セルフチェック」を活用した研修を実施した。 ・ 教科準備室等が密室化することがないように、適切な利用についての意識啓発を適宜行った。

③ 体罰・不適切な指導の防止

行動計画	検証結果
1. 生徒理解に努めるとともに、生徒の人権を尊重した指導を行う。 2. 生徒指導等においては、複数で対応する。	・ 10月に全校生徒・保護者を対象にアンケート調査を実施し、体罰がないことを確認した。 ・ 7月に体罰及び不適切指導防止研修を実施した。

④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

行動計画	検証結果
1. 入学者選抜、成績処理・通知票作成及び発行において、マニュアルに従い適切に取り扱う。 2. 調査書・推薦書等、進路関係書類の作成及び取扱いについて、職場研修を実施し、事故防止に努める。	・ 6月に成績処理等に関する研修を実施するとともに、成績処理支援システムの操作手順等については、資料を配付し、随時朝の打ち合わせ等で注意喚起を行った。 ・ 12月に啓発資料をもとに入学者選抜についての研修を実施した。

⑤ 個人情報の管理と情報セキュリティ対策

行動計画	検証結果
<p>1. 生徒の個人情報の収集は必要かつ緊急性を要する場合に限定し、届け出や連絡通知等の対応を適切に行うとともに、個人情報を含む電子データはパスワードの設定も含め適切に取り扱う。</p> <p>2. 私物のUSBメモリーを持ち込まない等、神奈川県情報セキュリティポリシーに基づき、情報機器等を適正に取り扱う。</p> <p>3. 個人情報が含まれている文書は、他の書類と混同しないよう明確に区別して取り扱い、紛失・誤廃棄・誤配付等を未然に防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の視点に基づき、ルールを明確に示した。 ・9月に個人情報の取扱いについての事故防止研修を実施した。 ・進路グループと学事グループが協力して成績・進路関係書類の適切な発行に努めた。

⑥ 会計事務等の適正執行

行動計画	検証結果
<p>1. 公費、私費の適正管理に努め、相互チェック体制に万全を期す。</p> <p>2. 適切な様式を使用するとともに、速やかな会計処理に努める。</p> <p>3. 現金の取扱い削減に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に「私費会計基準のポイントについて」を用いて私費会計に係る研修を実施し、事故防止に取り組む姿勢を再確認した。 ・「私費会計基準の扱い」の周知徹底を図った。 ・備品の現物照合を夏季休業中に行った。

II 令和2年度に取り組むべき課題

令和元年度のプログラムについては、当初の計画のとおり実施することができた。さらに今後は、事故の抑止に結びつく、実効性のあるプログラムの在り方について、グループを単位として検討する。また、現在定めているルールやマニュアルについては、時点修正や改正の必要がないか、適時確認する。